

小平市合流式下水道緊急改善計画

平成21年3月

小平市環境部下水道課

(様式1)

1. 対象区域の概要

小平市合流式下水道区域（面積 1,391.40ha）は、多摩川流域下水道関連北多摩一号処理区の水再生センターで処理している。市内には雨水を排水する河川が無く、雨天時には水再生センター手前の雨水吐口（1箇所）から、遮集量以上の合流雨水が多摩川へ放流されている。

2. 緊急に整備すべき理由

多摩川流域下水道北多摩一号処理区において、合流式下水道の当面の改善目標である汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）、及び公衆衛生上の安全確保（各雨水吐きからの未処理放流回数の半減）については、現段階では達成していないことが判明し、合流式下水道緊急改善計画が策定されたことから、この計画に則り下水道法施行令で定められた期間（平成 25 年度）までの確実な目標達成に向けた計画的な事業を実施する。

3. 計画目標

多摩川流域下水道北多摩一号処理区計画同様、最終年度を「平成 25 年度」とし、中間年度は「平成 23 年度」とする。

●最終年度（平成 25 年度）

①汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）

<小平市放流汚濁負荷量>

放流汚濁負荷量（kg/年）			
対策前	合流改善 目標値	現況 （平成 19 年度）	目標年度 （平成 25 年度）
118,893	106,167	110,450	106,075

②公衆衛生上の安全確保（各雨水吐きからの未処理放流回数の半減）

該当施設なし

③きょう雑物の削減（雨水吐きへのきょう雑物除去施設の設置）

該当施設なし

●中間目標（平成 23 年度）

①汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）

<小平市放流汚濁負荷量>

放流汚濁負荷量（kg/年）			
対策前	合流改善 目標値	現況 （平成 19 年度）	中間年 （平成 23 年度）
118,893	106,167	110,450	107,533

②公衆衛生上の安全確保（各雨水吐きからの未処理放流回数の半減）

該当施設なし

③きょう雑物の削減（雨水吐きへのきょう雑物除去施設の設置）

該当施設なし

4. 計画期間

平成 21 年度から平成 25 年度までの 5 年間

5. 整備効果

①汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）

雨水浸透施設の整備により、当面の改善目標である汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）を達成し、雨天時における公共用水域の水質が改善される（目標年度である平成 25 年度には、合流式下水道から排出される年間総汚濁負荷量は平成 19 年度現在より約 4,375kg 削減される）。

②公衆衛生上の安全確保（各雨水吐きからの未処理放流回数の半減）

該当施設なし

③きょう雑物の削減（雨水吐きへのきょう雑物除去施設の設置）

該当施設なし

6. 事業の効率化に関する取り組み

小平市では、総合的な治水対策や貴重な環境資源である雨水の地下水涵養、良好な水循環の形成を目的とした浸透施設（浸透ます、浸透トレンチ等）の設置を促進するため、指導要綱や助成制度を設け積極的に取り組んでおり、効率的な改善事業の推進を図るため、流出抑制施設（雨水浸透施設）の設置を合流改善対策の基本方針とした。なお、今後の浸透施設の設置量については、合流改善対策実施年の設置実績から予測し、現実的に設置可能な対策施設規模（計画）とした。

(様式2)

1. 概要

市町村名	小平市	対象地区名	北多摩一号 処理区	計画対象面積	1,391.4ヘクタール
整備概要 流出抑制施設（雨水浸透施設）の設置を合流改善対策の基本方針とし、今後の浸透施設の設置量については、合流改善対策実施年の設置実績から予測し、現実的に設置可能な対策施設規模（計画）とした。					

2. 雨水吐に設置するきょう雑物の除去施設

雨水吐名称	雨水吐位置	施設概要	概算事業費 (百万円)	工期
なし				

3. 雨水貯留施設

貯留施設名称	形態	集水面積 (ヘクタール)	貯留量 (立法メートル)	概算事業費 (百万円)	工期
なし					

4. 遮集管渠

遮集管の名称	対象流量	管渠内法寸法 (ミリメートル)	延長 (メートル)	概算事業費 (百万円)	工期
なし					

5. 雨水浸透施設

浸透施設名称	整備区域面積 (ヘクタール)	設置数量	浸透量(立法メートル/ヘクタール・分)	概算事業費 (百万円)	工期
浸透ます(民間)	1,391.4	3,500基	0.293		H21~25年度
		2,000基	0.521		
浸透ます (下水道等)	1,391.4	250基	0.305		H21~25年度
		284基	1.296		
		65基	4.000		
浸透トレンチ (民間)	1,391.4	8,021m	0.700		H21~25年度
		3,000m	0.882		

6. 雨水放流渠

放流渠の名称	対象流量	管渠内法寸法 (ミリメートル)	延長 (メートル)	概算事業費 (百万円)	工期
なし					

7. 簡易水処理施設

施設の名称	位置	能力	構造	概算事業費 (百万円)	工期
なし					

※設置時期は平成 28～29 年度となる。

8. 分流化に係る管きよ

管きよの名称	対象流量	管渠内法寸法 (ミリメートル)	延長 (メートル)	概算事業費 (百万円)	工期
なし					

9. 年次計画及び年割り額

(百万円)

名称	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	計
浸透ます	17.3	21.8	21.8	21.8	16.8	99.5
浸透トレンチ						

注) 年割り額は、小平市における合流式下水道緊急合流改善計画額を示す。

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成21年11月

1. 対象事業	小平市合流式下水道緊急改善事業																							
2. 実施主体名称	小平市																							
3. 計画期間	平成21年度～平成25年度																							
4. 対象事業の進捗状況	○平成20年度現在、浸透ます13,188基・浸透トレンチ17,849m等を整備し、鋭意事業実施中である。																							
5. 目標の達成状況と見通し	<table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>対策前</th><th>当面目標値</th><th>現況 (平成19年度)</th><th>目標年度 (平成25年度)</th></tr></thead><tbody><tr><td>①汚濁負荷量の削減 (kg/年)</td><td>118,893</td><td>106,167</td><td>110,450 (66%)</td><td>106,075 (100%)</td></tr><tr><td>②公衆衛生上の安全確保 (回/年)</td><td colspan="4">該当なし</td></tr><tr><td>③きょう雑物の削減 (箇所)</td><td colspan="4">該当なし</td></tr></tbody></table> <p>改善対策が未実施の時点を基準として考えると、現在、汚濁負荷量の削減は66%達成済みの状態にある。平成25年度までには、目標に対する達成率は100%となる見込みである。</p>				区分	対策前	当面目標値	現況 (平成19年度)	目標年度 (平成25年度)	①汚濁負荷量の削減 (kg/年)	118,893	106,167	110,450 (66%)	106,075 (100%)	②公衆衛生上の安全確保 (回/年)	該当なし				③きょう雑物の削減 (箇所)	該当なし			
区分	対策前	当面目標値	現況 (平成19年度)	目標年度 (平成25年度)																				
①汚濁負荷量の削減 (kg/年)	118,893	106,167	110,450 (66%)	106,075 (100%)																				
②公衆衛生上の安全確保 (回/年)	該当なし																							
③きょう雑物の削減 (箇所)	該当なし																							
6. 対象事業の整備効果と発現状況	小平市では、これまでに設置されてきた雨水浸透施設(※)により、汚濁負荷量の削減目標に対して66%を達成している。 ※小平市内合流区域全体の総浸透・貯留量は約25,713m ³ /hrに及ぶ(平成20年度実績)																							
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	小平市における雨水浸透施設の設置については、指導要綱や助成制度を設け積極的に推進している。																							
8. 今後の方針	上記の他、雨水の貯留活用も流出抑制の方法として効果が期待されることから、雨水の積極的な活用も進めていく。																							